

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	患者のための薬局ビジョン推進事業費			<b>担当部局庁</b>	医薬・生活衛生局長			<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成28年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	総務課			課長 森 浩太郎			
<b>会計区分</b>	一般会計										
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	『日本再興戦略』改訂2015(平成27年6月30日閣議決定) 骨太の方針2015(平成27年6月30日閣議決定)						
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費						
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3程度以内)	かかりつけ薬局の機能を明確化し、将来に向けた薬局再編の姿を示す「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けて、24時間対応や在宅対応等における地域の薬局間での連携体制の構築のための取組や健康サポート機能の更なる強化に向けた先進的な取組など、薬局のかかりつけ機能の強化のためのモデル事業を実施する。										
<b>事業概要</b> (5程度以内。別添可)	(1)患者のための薬局ビジョンの実現に資するテーマ別モデル事業 ①地域の薬局全体のかかりつけ薬局機能強化のための連携推進事業 ②多職種連携による薬局の在宅医療サービスの推進事業 ③電子版お薬手帳を活用した先進的な地域の健康づくり推進事業 ④薬局・薬剤師によるアウトリーチ型健康づくり推進事業 (2)患者のための薬局ビジョン実現のための調査・検討事業 現在の薬局の実態(立地条件、設備、人員体制、在宅医療等の取組状況など)を調査・分析し、当該結果を踏まえて、ビジョン実現のためのロードマップや具体の施策を講じる上での留意点等を検討する。										
<b>実施方法</b>	委託・請負										
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		補正予算	-	-	-	180					
		前年度から繰越し	-	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
		計	0	0	0	180	0				
	執行額	-	-	-	-	-					
	執行率(%)	-	-	-	-	-					
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度			
	地域包括ケア等に貢献するため、在宅・24時間対応の薬局を増加させ、薬局のかかりつけ薬局機能の強化を図る	基本調剤加算1及び2の届出薬局数	成果実績	件	30,209	29,691	集計中	-	-		
			目標値	件	-	-	29,691	-	29,691		
			達成度	%	-	-	-	-	-		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込					
	参加自治体(都道府県)数	活動実績	件	-	-	-	-				
		当初見込み	件	-	-	-	29				
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込					
	検討会開催回数	活動実績	回	-	-	-	-				
		当初見込み	回	-	-	-	3				
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込					
	X:補助金執行額(千円)/ Y:補助事業者件数(件)	単位当たりコスト	千円	-	-	-	6,053				
		計算式	X/Y	-	-	-	175,539/29				
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由							
	衛生関係者指導者養成等委託費	175									
	保健福祉調査委託費	5									
	計	180	0								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	品質・有効性・安全性の高い医薬品・医療機器を国民が適切に利用できるようにすること( I - 6 )							
	施策	医薬品の適正使用を推進すること( I - 6 - 3 )							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	-								
	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									
<b>事業所管部局による点検・改善</b>									
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	「かかりつけ薬局」として地域包括ケア等に貢献することを目的とする事業であることから、国民や社会のニーズを的確に反映しているものである。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	地域の薬局全体のかかりつけ薬局機能強化のための連携推進など、薬局のかかりつけ機能の強化を図るための事業であり、国において整備要綱等を定め、実施すべき事業である。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「かかりつけ薬局」として地域包括ケア等に貢献することを目的とする事業で、優先度の高い事業である。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-							
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-								
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-							



